



ハインリッヒの法則

さわやかな中体連になりますように!

アメリカの損害保険会社に勤務していたハーバート・ウィリアム・ハインリッヒは、工場で発生した数千件の労働災害を統計学的に調査した結果、「1件の大きな事故の裏に、29件の軽い事故、その裏に事故には至らない300件の「ヒヤリ」「ハツト」する体験がある」(ハインリッヒの法則)という事実を見つけます。

大事故を未然に防ぐためには、日頃から不注意・不安全な行動による小さなミス、ヒヤリハットが起きないようにすることが重要であり、ヒヤリハットなどの情報をできるだけ早く把握し、先を見通した対策を講じることが必要です。

さて、3年生の部活動生は、集大成となる中体連大会が、いよいよ本日からスタートします。当日をベストコンディションにするために「ハインリッヒの法則」を意識し、残りの日々をどう過ごせば良いか考えて行動してほしいと思います。

具体的には、学校生活において、時間に余裕を持って過ごしたり、部活動において、顧問の先生からの引率計画や大会要項をしっかりと確認したり、事前の準備を万全にすることです。心技体の状態を準備万全にすることが成功の秘訣につながると思います。

また、北部中の6月は「心さわやか月間」です。自分を大切に、他人を思いやり、「さわやか」に中体連で活躍してくれることを願っています。

★熊本市中体連激励会

6月12日(月)に体育館で行いました。各部立派な態度で堂々と挨拶と目標を行なってくれました。



大会の結果は北部中 HP (kumamoto-kmm.ed.jp)に随時掲載します。

【めあて】

「責任」について考えてみよう



わたしのせいじゃない (オンライン朝講話)

心さわやか月間(いじめ根絶強化月間)より、6月6日(火)にオンライン朝講話を行いました。

北部中学校では、生徒の皆さんが安心して学校生活を過ごせるように、「きずなアンケート」を毎月実施し、いじめ防止等への対応に取り組んでいます。

しかしながら、昨今のSNSを通じた誹謗中傷等のトラブルは社会問題となり、油断できません。

オンライン朝講話では、「わたしのせいじゃない」(小6道徳の教科書に掲載)を取り上げ、道徳推進教師の渡邊先生から、いじめのない集団を目指して話をしていただき、図書室の前田先生の朗読を聴きました。

最後に、ロイロノートへ「今あなたが考えたことを書いてみましょう。」とまとめを行いました。



全校生徒の皆さん、いじめ根絶を目指す感想をありがとうございました。

自分とは、全く違う人がたくさんいて人それぞれに個性があるから、その個性に対して何か批判をしたりするのはいけないことだという自覚を集団のみんなが持つべきだと思う。

自分の間違いを他人に押し付けて、自分を正当化することは人のためにも自分のためにもならないと思ったので、自分の犯した過ちはしっかりと受け止めないといけないと思った。